



2021年2月18日(木)  
愛知県陶磁美術館学芸課  
担当 佐久間、宮川  
電話 0561-84-7474  
愛知県民文化局文化部文化芸術課  
振興第一グループ  
担当 岡田、草野  
内線 2460・2459  
ダイヤルイン 052-954-6183

## 愛知県陶磁美術館特別展

こ い ま り

# 海を渡った古伊万里

## ～ウィーン、ロースドルフ城の悲劇～

The Tragedy of Loosdorf Castle:  
The Destruction and Rebirth of Exported Old Imari

会期：2021年4月10日(土)～6月13日(日)

オーストリア、ウィーン郊外にたたずむ古城ロースドルフ城には、日本の古伊万里を中心とした陶磁器が多数所蔵され、かつてそれらは調度品として城内を美しく飾っていました。ところが、第二次世界大戦終結直後の混乱期であった1945年に、コレクションの多くが破壊されてしまったのです。城主であるピアッティ家は、城内に残された大量の破片を廃棄するのではなく、現在まで大切に保管し、平和への祈りを込めて一般公開してきました。

本展では、国内にある古伊万里の名品とともに、破片を含むロースドルフ城の陶磁コレクションを日本初公開いたします。さらには、日本における最新の修復技術により破片を修復した作品を展示し、波乱に満ちたロースドルフ城コレクションの全貌を明らかにします。



## みどころ

- ◆波乱に満ちた悲劇のロースドルフ城コレクション、日本初公開！
- ◆世界を魅了した「古伊万里」。従来の研究に一石を投じる新資料も！
- ◆「破壊」から「再生」のアイコンへ。日本の最新修復技術によって、ロースドルフ城コレクションが蘇りました。

- 1 会 期** 2021年4月10日(土)から6月13日(日)まで  
休館日：毎週月曜日  
(ただし5月3日(月・祝)は開館し、6日(木)は休館)
- 2 開館時間** 午前9時30分から午後4時30分まで(入館は午後4時まで)  
※ただし、4月10日(土)は開会式のため観覧は午前11時から
- 3 会 場** 愛知県陶磁美術館 本館1階 第1・第2・第8展示室  
(瀬戸市南山口町234番地 電話：0561-84-7474(代表))
- 4 主 催** 愛知県陶磁美術館、中日新聞社
- 5 後 援** 愛知県教育委員会、愛知高速交通株式会社、  
オーストリア大使館／オーストリア文化フォーラム、日埴協会
- 6 特別協力** ロースドルフ城ピアッティ家、一般社団法人古伊万里再生プロジェクト、佐賀県立九州陶磁文化館
- 7 企画協力** 株式会社キュレーターズ
- 8 主な展示作品** 別紙1のとおり

**9 関連事業** (各事業の詳細は公式 Web ページでご案内しています)

**(1) 記念講演会Ⅰ「破壊された陶磁の語る宮廷文化」**

日 時：4月10日(土) 午後1時30分から午後3時まで

講 師：あらかわまさあき 荒川正明氏 (本展監修者、学習院大学教授)

**(2) 特別対談「陶磁器修復の世界」**

日 時：4月11日(日) 午後1時30分から午後3時まで

講 師：まゆまこうじ 繭山浩司氏 (修復家)・荒川正明氏

**(3) 記念講演会Ⅱ「ウィーン万国博覧会とロースドルフ城の陶磁コレクション」**

日 時：5月1日(土) 午後1時30分から午後3時まで

講 師：もりやみほ 森谷美保氏 (本展企画協力者、美術史家)

**(4) 学芸員による連続講座「入門編！海を渡った陶磁器」**

①4月18日(日) 「古伊万里、西洋へ 青・赤・金」 いとうよしあき 伊藤嘉章 (総長)

②5月9日(日) 「輸出の華・幕末明治の陶磁」 おおつきのりこ 大槻倫子 (学芸課長)

③5月30日(日) 「海を渡った明清陶磁」 たばたじゅん 田畑潤 (学芸員)

④6月6日(日) 「ヨーロッパ陶器 白への憧れ」 みやがわななこ 宮川菜々子 (学芸員)

いずれも午後1時30分から午後3時まで。単回の参加も歓迎。

(1)～(4)の会場は本館講堂。聴講無料、事前申込不要、定員100名。

## (5) 学芸員・佐久間真子によるギャラリートーク

日 時：5月4日（火・祝）、5月23日（日）、6月13日（日）

いずれも午後1時30分から1時間程度。

聴講無料（ただし本展観覧券が必要です）、事前申込不要、先着15名。

※新型コロナウイルス感染拡大予防対策のため、本館玄関ロビーにおけるスライドトークに変更する可能性があります。

## (6) ワークショップ「重ねて描く」全3回

磁器の文様作りと染付・色絵を体験する全3回の講座です。

日 時：4月24日（土）、5月8日（土）、5月22日（土）

いずれも午後1時30分から3時30分。

会場は陶芸館。定員20名。

\*要事前申込（お申込は、全ての回に参加できる方に限ります。）・要参加料。

## 10 観覧料

一般 900円（団体720円）、高大生 700円（団体560円） 中学生以下無料

\*（ ）内は20名以上の団体料金

## 11 割引制度

身体等に障がいのある方及び付添者（手帳提示）/リニモ「陶磁資料館南」駅等に設置の割引ちらし、リニモ又は名古屋市交通局の「一日乗車券」、ちらし等の割引引換券、JAF会員証等を持参された方/同一展リピート割など、各種割引制度があります。

詳細は公式WEBページ ([https://www.pref.aichi.jp/touji/use\\_guidance/](https://www.pref.aichi.jp/touji/use_guidance/)) で御確認又はお問合せください。※各割引制度の併用はできません。

## 12 問合せ先

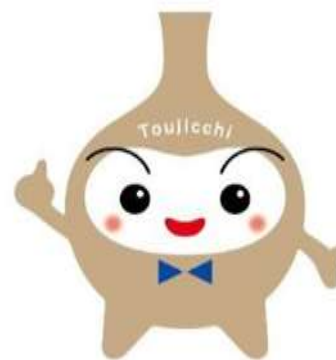
愛知県陶磁美術館

〒489-0965 愛知県瀬戸市南山口町234番地

電 話：0561-84-7474（代表）

ファクシミリ：0561-84-4932

メー ル：touji@pref.aichi.lg.jp



当館マスコットキャラクター  
とうじっち

**波乱に満ちた、ロースドルフ城の古伊万里！**

**ウィーンから里帰りし、**

**蘇った美しい磁器の数々をみてね！**

本展は、東京会場（大倉集古館）での開催時に多くのメディアに取り上げられ、大変話題となっています。詳細は別紙2を御覧ください。

2021年6月26日（土）からは、掌に乗る小さな陶芸を愛しむ企画展「水滴 小さき陶芸—大島国康コレクションを中心に—」を開催します。詳細は別紙3を御覧ください。

第 I 部：日本磁器誕生の地—有田

何が見られる？⇒「古伊万里」とは何か、名品の数々からたどります。

1. 日本磁器の誕生、そして発展



【画像 NO. 1】<sup>そめつけからじしもんおざら</sup> 染付唐獅子文大皿

有田窯 1630-40 年代  
佐賀県立九州陶磁文化館  
口径 45.7cm

**日本初の国産磁器「伊万里」誕生！**

- ・磁器とは、白くて硬く、光に透けるようなやきもののこと。生産には高度な技術を要するため、日本は長らく中国から磁器を輸入していた。
- ・ところが、1610 年代に朝鮮半島由来の技術を用い、現在の佐賀県有田町付近で発見された原料を使って、日本初の国産磁器が誕生。
- ・この磁器は、輸送された港の名前から、「伊万里」と呼ばれるように。「古伊万里」とは、「古い時代の伊万里焼」全般を指す言葉。



【画像 NO. 2】<sup>いろえゆうそくもんさら</sup> 色絵有職文皿

鍋島藩窯 1660-70 年代  
今右衛門古陶磁美術館  
口径 15.2cm

**徳川將軍家のための、最高の伊万里**

- ・1650 年代に創始された鍋島藩窯の製品。伊万里焼の中でも随一の品質とデザインを誇る。
- ・鍋島藩は関ヶ原合戦後に將軍家との関係修復に苦慮する中で、藩の命運をかけた献上品として御用磁器を作らせた。
- ・格調高い色彩と、粋な服飾デザインを採り入れた品格溢れる磁器。

2. 世界を魅了した「古伊万里」



【画像 NO. 3】<sup>いろえそうかつるもんりんかさら</sup> 色絵草花鶴文輪花皿

有田窯 1670-80 年代  
佐賀県立九州陶磁文化館  
口径 25.0cm

**日本の伊万里、西洋へ！  
ヨーロッパが熱狂した、「柿右衛門」**

- ・世界の磁器市場を担っていた中国産磁器の輸出が、明から清への動乱期にストップ。
- ・輸出を中継していたオランダ連合東インド会社は、製品の不足を補うために、伊万里焼を代わりに西洋に運ぶことに。
- ・やさしい乳白色の素地に繊細な絵付けが特徴の「柿右衛門」様式は、西洋の王侯貴族に大変な人気となり、ドイツのマイセン窯にも多大な影響を与えた。



【画像 NO. 4】 いろえまどえきくもんじんぶつちゅうふたつきつぼ 色絵窓絵菊文人物鈕蓋付壺  
有田窯 1700-30 年代  
愛知県陶磁美術館  
高さ 66.5cm

**西洋の城を豪華に飾った、巨大な伊万里**

- ・ 西洋の城を豪華に飾るため、伊万里に求められたのは、「大きさ」と「華やかさ」だった。
- ・ 青、赤、金を基本色に、絢爛豪華な絵付けを施した巨大な伊万里が数多く海を渡った。
- ・ 本作は、高さを増すために、壺の天頂に人形を接着している。
- ・ 高さが 60~70cm に及ぶ壺や、口径が 50 センチを超える皿など、超大型の製品も、本展では多数展示予定。

3. 万国博覧会と有田焼



【画像 NO. 5】 いろえあずまやさんすいそうかちょうもんたいへい 色絵東屋山水草花蝶文大瓶  
有田 久富家 1840-60 年代 個人蔵  
高さ 61.0cm

**幕末明治、万国博覧会に躍り出た伊万里**

- ・ 18 世紀中頃、清朝の磁器輸出が復活したことを受け、伊万里の海外輸出はいったん終息。
- ・ その後、幕末明治期の 1840 年代に、再び有田の豪商が輸出を復活させた。
- ・ 明治になると、政府が公式参加した万国博覧会などで、超絶技巧を駆使した多くの逸品が披露され人気を集めた。



## 第Ⅱ部：海を渡った古伊万里の悲劇—ウィーン、ロースドルフ城

何が見られる？⇒ウィーンの古城を飾った磁器コレクションの、破壊と再生を展覧します

### 1. ウィーン、ロースドルフ城の陶磁コレクション



#### 【画像 NO. 6】

いろえからじしぼたんもんきっこうすかしぼりへい

#### 色絵唐獅子牡丹文亀甲透彫瓶（部分修復）

有田窯 1700-30年代 ロースドルフ城

高さ 38.5cm

#### 日本国内に残されていない、レアな逸品

- ・ロースドルフ城の城主ピアッティ家は、19世紀になる頃、陶磁器の収集を開始。
- ・伊万里をはじめ、中国・景德鎮やヨーロッパの各窯の製品が収集されている。
- ・本作は、壺の全面に華やかな文様が描かれた、金襴手の逸品。亀甲型の凝った透かし彫りが特徴で、この類の製品は日本国内にはほとんど残されておらず、輸出先であるヨーロッパで多く発見される。



#### 【画像 NO. 7】

ごさいかきもんさら

#### 五彩花卉文皿（修復）

景德鎮窯 18世紀前半 ロースドルフ城

口径 31.2cm

#### 古伊万里をモデルに作られた中国磁器

- ・日本産の古伊万里金襴手が西欧で流行したことを受け、中国・景德鎮窯では18世紀前期に、その写しが大量に生産された。
- ・これらは「チャイニーズイマリ」と呼ばれる。



#### 【画像 NO. 8】

いろえかきびじんもんぼんき

#### 色絵花卉美人文盆器（組み上げ・部分修復）

ヨーロッパ 18-19世紀 ロースドルフ城

高さ 26.9cm

#### 実はヨーロッパ産！驚きの新資料

- ・日本美人が描かれた植木鉢。一見、日本の古伊万里のようだが、西洋の窯で古伊万里を模倣して制作された品。
- ・日本からの輸出が途絶えた19世紀においてもなお、ヨーロッパで豪華な絵付けの古伊万里が人気だったことがわかる。
- ・ロースドルフ城からは、このような新資料「西洋産の古伊万里写し」が多く見つかった。

## 2. ロースドルフ城の悲劇



### 【画像 NO. 9】

ロースドルフ城 陶片の間

#### 悲惨な破壊を受けたコレクション

- ・ロースドルフ城の陶磁コレクションは、不幸にも、第2次世界大戦後に城を接収した旧ソビエト軍によって、1945年に無残に破壊されてしまう。
- ・しかしピアッティ家は、破片を「戦争遺産」だとして保存し、平和への祈りを込めて一般公開してきた。

## 3. 「破壊」から「再生」へ



### 【画像 NO. 10】

いろえしやうちくばいづるもんはっかくおおざら

色絵松竹梅鶴文八角大皿（修復）

有田窯 1700-20年代 ロースドルフ城

口径 44.5cm

#### 日本の最新の修復技術で蘇った大皿

- ・格調高く豪華さも漂う逸品だが、下記のように大きく破損していた。
- ・このたび、国内で陶磁器修復の第一人者である繭山浩司氏によって、往時を彷彿とさせる姿に蘇った。



（修復前の状態）



### 【画像 NO. 11】

はくじたいへい

白磁大壺（組み上げ修復）

ドイツ・マイセン窯 20世紀初頭

ロースドルフ城

総高 83.7cm

#### まばゆい白さを取り戻した大壺

- ・ロースドルフ城には、バラエティある西洋陶磁器も所蔵されている。
- ・マイセン窯は、中国や日本の磁器を目指して、1710年に磁器焼成に成功。本作品には1741年に制作された原型があり、それを20世紀初頭にリバイバルとして制作されたと考えられる。
- ・ロースドルフ城では全体が破損し汚れていたが、修復により蘇った。

## 【これまでに掲載された主要な媒体のご紹介】

別紙 2

本展覧会は、東京会場（大倉集古館、令和2年11月3日（火・祝）～現在臨時休館中）の会期中、多くのメディアに取り上げられ、大変話題となりました。

※東京会場の会期は当初1月24日（日）までの予定でしたが、緊急事態宣言の発出を受け、1月12日（火）から臨時休館中となっています。

主要な掲載媒体をご紹介します。

### テレビ

◆NHK 2020年11月2日『首都圏ニュース』にて報道

◆NHK 2020年11月2日『World News』にて報道

◆NHK Eテレ 2020年12月6日『日曜美術館 アートシーン』冒頭の特集

### 一般誌

◆『家庭画報』2020年11月号  
「海を渡った古伊万里 破壊から再生への物語」6頁  
カラー特集

◆『週刊文春』2020年12月17日号  
「膨大な破片から蘇った美」橋本麻里氏による連載  
「東洋美術逍遙」において

### 茶道・陶芸などの専門誌

◆『陶説』2020年10月号

◆『なごみ』2020年11月号

◆『淡交』2020年11月号

◆『炎芸術』144号

◆『和楽』2020年12・2021年1月号

◆『小さな蕾』2020年11月号

### WEB マガジン

◆ウェブ『美術手帖』

◆ウェブ『Precious』

◆ウェブ『Domani』

◆ウェブ『サライ.jp』

ほか多数



(参考) 大倉集古館での展示風景



## 企画展

## 水滴 小さき陶芸

—大島国康コレクションを中心に—

同時開催：テーマ展・愛知の新たな宝

2021年6月26日（土）～9月26日（日）

水滴は硯に水をさす時に使う、小さなうつわです。高度な制作技術に支えられた実用品である一方、その造形には地域や時代を映した精神性と遊び心が溢れています。本展では、鎌倉時代から平成年間にわたる陶製水滴コレクション約千点より選りすぐった名品を中心に、小さき陶芸に込められた美を楽しみ、上質な暮らしの創造へと思いを馳せていただければと思います。

同時開催の「愛知の新たな宝」では、陶磁美術館が近年収蔵した、古代猿投窯と中世瀬戸窯の名陶を紹介します。

\*詳細については、後日別途に記者発表いたします。



鉄釉印花蓮弁文水滴  
瀬戸 鎌倉時代（14世紀）  
高さ 3.7cm

- 1 会 期 2021年6月26日（土）～9月26日（日）  
休館日：毎週月曜日、ただし8月9日（月）は開館、8月10日（火）は休館。  
9月20日（月）は開館、9月21日（火）は休館。
- 2 開館時間
  - ・6月26日（土）～6月30日（水）  
午前9時30分から午後4時30分まで（入館は午後4時まで）  
※ただし、6月26日（土）は開会式のため観覧は午前11時から
  - ・7月1日（土）～9月26日（日）  
午前9時30分から午後5時まで（入館は午後4時30分まで）
- 3 会 場 愛知県陶磁美術館 本館1階 第1展示室・第2展示室  
（瀬戸市南山口町 234 番地 電話：0561-84-7474（代表））
- 4 主 催 愛知県陶磁美術館、中日新聞社
- 5 問い合わせ先 愛知県陶磁美術館 学芸課 小川、宮川  
〒489-0965 愛知県瀬戸市南山口町 234 番地  
電 話：0561-84-7474（代表）、F A X：0561-84-4932  
メール：touji@pref.aichi.lg.jp

水滴は、時代を映す文房具。  
手のひらサイズ的美と技を感じよう！

